



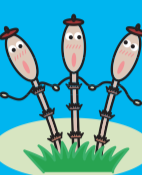
私の履歴 (その8 大学院その1)

旭川も札幌も北海道は私にとって好きな街だったのですが、北海道に赴任以来6年が経過し、母の病気が悪化していたので「そろそろ関東に帰って来い」と言われ、母校に研究科(大学院)学生として帰りたいと思うようになっていました。研究科に帰るためには選抜試験があるので、慣れないフランス語や自衛隊の科目(戦術など)を勉強していたためか、試験の前々に大きな借金もしていないのに急に首が痛くて回らなくなりました。また試験の前日、母校のそばの予約したホテルに行ってみたらラブホテルみたいなところでした。本当に困惑しました。痛い首をさすりながら一人でそこに泊まって、翌日のフランス語の試験を受けたことを思い出します。フランス語の試験は難しくよくできませんでしたが、前日はよく眠れなかったので落ちたかと思いました。もともと私のようにずっと母校から離れていると、合格する可能性は低かったのですが、札幌で作った論文に助けられて、運よく防衛医大研究科に合格し母校に戻る機会を与えられました。

せっかく母校に帰ることが出来たのであれば、昔から懇意にさせてもらっていた細菌学(免疫学)教室で、札幌での経験を活かして糖尿病に関連する研究をしたいと思いました。当時の第3内科の教授が細菌学教室との共同研究を了承してくださいましたので、膵臓のβ細胞(インスリンを作る細胞)の培養や糖尿病患者の免疫機能の解析を研究することに決めました。昼は第3内科で糖尿病の診療業務をして、夕方からは免疫学の研究に没頭しました。だいたい毎晩深夜2時頃まで研究していたように思います。現在は東京医大茨城医療センターに勤務している桂教授や永瀬准教授ともその時に会いました。

研究は、はじめは指導者もおらず、くる日も来る日もラットを犠牲にしては失敗に終わっていましたが、半年くらいしてやっと膵臓のランゲルハンス島(インスリンなどのホルモン分泌をする細胞集塊)の分離に成功しました。本当に“黄金色”に輝いているように美しく見えました。その日は、TVちびまる子ちゃんの「おどるポンポコリン」が流れる街で、仲間と祝杯をあげました。その後も頑張って、3年目には何とか博士論文を完成させることが出来ました。

ちょうどその頃でした。イラクとクウェートの国境で湾岸戦争がはじまったのです。日本では一般の方には直接的にはあまり影響のない戦争だったかもしれませんが、我々防衛医大の卒業生にとってはとてもインパクトのある大事件で、私の人生にも大きな影響を与えたのです。ベルリンの壁が崩壊したころの話です。(次号へ続く)



私の履歴

8

ヘモグロビン・エー・ワン・シー(HbA1c)の値が変わります (糖尿病療養指導士 大場)

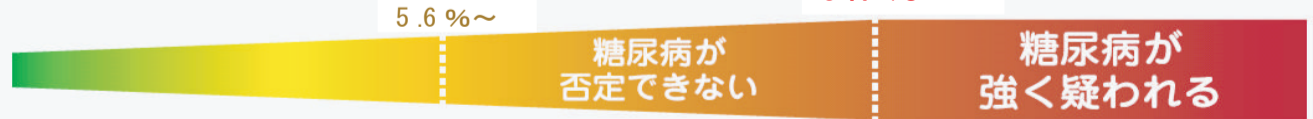
糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気で、血糖コントロールの善し悪しを表す指標にHbA1c(ヘモグロビン・エー・ワン・シー)があります。過去1~2か月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われます。

糖尿病の皆様は、来院するたびに、「今日のHbA1cはどうか？」っていつも気にしていらっしゃると思います。「食べ過ぎたなあ」「体重が増えたなあ」と思っている方は「HbA1cが上がっているのでは？」と感じ、一方で運動を始めた人や「食事療法を頑張ったぞ!」と思っている方は「少し下がっていいいな」などと結果が出るまで気になりますね。今回そのHbA1c値が変わります。これまで使用されてきたHbA1c(JDS)にかわって、4月から国際標準となっているHbA1c(NGSP)を日本でも使用することになりました。これに伴って、皆さんのHbA1c値がおよそ0.4%高くなります。以前のHbA1cの数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

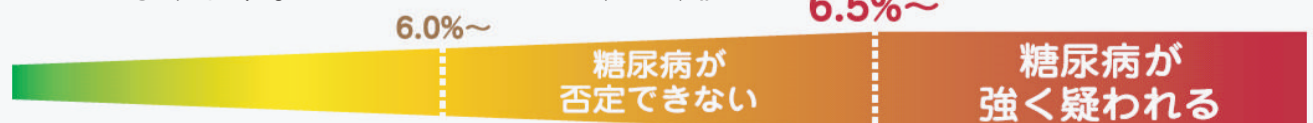
$$HbA1c(JDS値) + 0.4\% \approx HbA1c(NGSP値)$$

例えば今まで6.1%だった人は、今回の変更によって6.5%と表示されるようになります。これに伴って今までの血糖コントロールの指標もそれぞれ0.4%上がります。

◇いままでは、HbA1cが「6.1%以上」の場合は、糖尿病が強く疑われる」となりましたが



◇これからは、HbA1c値が「6.5%以上」の場合は、糖尿病が強く疑われる」となります。



慣れるまで大変でしょうが、迷った時はいつでもスタッフにお尋ね下さい。

休診のお知らせ

4月と5月の診療予定です。休診日に御迷惑をお掛けしますが、宜しく御了承ください。

4月

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月

S	M	T	W	T	F	S
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		